

議会報告会報告書

開催日時	平成27年 11 月 4 日 (水) 午後 19 時 00 分 ~ 午後 21 時 08 分				
開催場所	大東北公民館				
参加人数 (議員・事務局除く)	45 人				
出席議員	2 班	栞原通泰	大石與志登	鈴木正治	山本行男
		雪山敏行	二村禮一	大石 勇	小沼秀明
役割分担	班 長	栞原通泰		司会進行	大石 勇
	報告 (人口減少)	雪山敏行		テーマ① (健康長寿)	二村禮一
	テーマ② (若者)	小沼秀明		記 録	山本行男
	受 付	大石與志登		受 付	鈴木正治
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮)かけがわ健康 長寿基本条例につ いて 若者に魅力ある掛 川市について	・100 歳者には国より表彰があるが 101 歳者以上者にもこの条例にて 表彰規定など考えたかどうか？ 1 年間国保を一度も使用しない者 も表彰したらどうか？医療崩壊と 有りましたがどのようなことか ・高齢者施設と子供や障害者施設が 複合的に設置すれば情操教育など ができると思う。 また、建設費用も安くなるのではな いかと思う。 ①報徳の教えを活かした街づくり とあるが、大東などではまだ浸透し ていないと思うので、議会でもこの 地域にどうすれば報徳の教えが浸 透するか話し合って欲しい。			市としてもいろいろ施策を講じて いると思うが貴重な参考意見とし て承ります。 地域医療体制と医療費の抑制策を 講じて行かないと医療崩壊が起こ る。 コンビニ受診や救急車をタクシー 代わりに使用するなどで医療崩壊 が起きるリスクがある。 ・希望の丘には保育園や高齢者施 設、障害者施設があるのでそれら が交流できるように議会でも図っ ていきたい。 ①教育現場では「この人に学びた い」や「なるほどなっとく金次郎」 の副読本を使い報徳などの学習を している。 旧掛川市でも報徳の教えを知らな い人が多い、大人も一緒に学んで いく場を作るなど議会でも提言し ていきたい。	

その他	②高校生の意識調査の中に活気ある商店街や観光施設、娯楽施設等があるが、この地域では商店などが減っている、旧掛川のようにには行かないと思うので議員も具体的にどのようにすれば良いか議論して欲しい。 ①待機児童が県内ワースト 1 ですが今迄の施策が悪いのか？ この問題は他市に先駆けての事業計画がほしい。先手をとってやって欲しい。 ②掛川市は県内で保育料が高いと聞くまた、他市と比べてどうか？ ・先日の新聞で県内で住んでみたい都市、1 番は菊川市であったが議会としてどのように分析しているか？ 3 歳児 4 歳児についてはどうか？ ①もっと自然を大事にしなければいけないと思う。 ②高齢者の足が無いので考えて欲しい。 ③今の若者世帯は1人か2人の子どもを見れない。わがままではないか。税金で保育園など作ってもムダ。 小笠山の参道整備など整備が悪い。案内板など有志が作っている。掛川市はあまり力を入れていないと思う。	②旧掛川駅前だけが商店街でないと認識している。大東地域でも不便なく買い物が出来ることが大事と思う。貴重なご意見ですので議会でも議論して参ります。 ①その通りだと思います。今回は9月補正でこの問題を前倒しして対応した。議会として子育て日本一になるように議論して参ります。 ②公設と私立との差額を埋めるため激変緩和策で対応している。掛川市は保育料が高いというイメージが広がるのは困る議会としても議論して参ります。 ・菊川市では駅の南北開発などで定住整備が進んでいるのがそうさせているかと思う。 掛川市は2番目でしたが交通網の整備や魅力あるまちづくりが必要議会してもこれらを踏まえ議論して行きたい。もう一つとして津波問題の無い菊川市や藤枝市に人口増がみられるのも原因かと思う。 ・小学校区や通勤の関係で近場での入所をさせたいと願う父兄の関係で難しい。良く議論し善処したい。 ・先程の話も含めて議会として所管する委員会などで議論を深めていきたい。
------------	---	--

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 11 月 5 日(木) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 55 分				
開催場所	原谷地域生涯学習センター				
参加人数 (議員・事務局を除く)	4 3 人				
出席議員	3 班	内藤澄夫 大場雄三	堀内武治 窪野愛子	鈴木久男 山本裕三	山崎恒男 渡邊久次
役割分担	班長	内藤澄夫		司会進行	堀内武治
	報告 (人口減少)	大場雄三		テーマ① (健康長寿)	窪野愛子
	テーマ② (若者)	山本裕三		記録	渡邊久次
	受 付	鈴木久男		受 付	山崎恒男
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮) かけがわ健康長寿基本条例について	・原谷地区では、高齢者が病院や買い物に行くときの足の確保が課題である。どう取り組むのか。 ・若者の中で結婚に乗り遅れる人がいる。自分からは積極的になれない場合もあるので、公的な婚活支援にどう取り組むのか。 ・人生の最期をどう迎えるか、病院での延命治療を続けるかどうかなど、本人の意思を確かめることが難しい問題であるが、どう考えればいいのか。			・原田地区、東山口地区では福祉バスを運行している。大須賀地区でも平成 2 8 年より運行の予定である。高齢者福祉だけでなく、高校生の通学も併せて考えていく。 ・社会福祉協議会では、婚活イベントにも取り組んでいる。婚活パーティーなどをかつてはやったこともあったが、あまり成果がなかった。今後、どのような出会いの場を作りが必要か検討していく。 ・誰もが通らなければならないことであり、本人の意思が家族にしっかり伝わるような手立てを考えていく必要がある。在宅での看取りができるようになるには、訪問診療や訪問看護の体制がしっかりできるようになることが大事。	
若者に魅力ある掛川市について	・人口流出の原因には、静岡県が愛知や神奈川より、最低賃金が 100 円程安いということもある。労働環境の向上をどう図っていくか。 ・障がい者の働く場の確保も必要。500 人サポート事業の進み具合はどうか。			・若者の貧困対策は、結婚問題にもつながる重要な問題である。若者の雇用の安定を図っていくことに取り組む必要がある。 企業の法定雇用が守られていない状況もある。条例化の準備も進めている。	

報告に関する質疑	(質疑)	(答弁)
若者に魅力ある掛川市について	・大学進学などで都会に出た若者が、卒業してそのまま住み着く傾向がある。高校を卒業して、地元で学べる環境も必要ではないか。 ・0～2歳児の保育拡充は良いことだが、保育所を増やしても、また待機児童がでるという状況ではないのか。 ・家族が亡くなって、跡継ぎが財産放棄をしたような空き家を、有効に活用したい。農振地域では簡単に新築できないという状況もある。 ・空き家を取り壊すと、固定資産税も高くなり、後の土地の管理も大変になる。何か対策はないのか。 ・私たちの地区では、5人が出て行ったが、新しく5人が定住するようになって28戸を維持されている。市のHPで見て決めたということだが、市が最後まで対応してほしいという声もある。	・都会で生活している若者の6割が、いつかは田舎で暮らしたいと考えているという町もある。都会にはない、個性のある魅力をつくっていくようにする。 ・国定義の待機児童は56人でも、現実の待機児童（不承諾児）はもっと多いので、これで十分ということではなく、次年度以降も拡充を考えていく必要がある。 ・貸してもよいという人がいても、借りたいという人が少ない。中山間地の定住者を増やしていくことについて、対策協でも検討していきたい。 ・空き家対策の難しさがある。若い人が地域に住み着くためには、子育て、教育、住宅の環境を充実させること。問題は財源確保である。 ・定住を促進するためには、「定住して良かった」という思いを持ってもらうことと、「定住してもらって良かった」と地域の人たちが思うことも大事である。定住が進むように、宅建業者との連携も図っていく。
その他	・地区要望として、3項目の中でU字溝の設置を出したが、予算の都合ということで対応してもらえなかった。 ・ ・掛川市は、全域が浜岡原発から30km以内にあるが、願発の今の状況はどうか。	・すぐやるということが基本だが、3億円の予算の中での対応なので、次年度に繰り越される場合もある。一マを絞った話し合いとさせてもらっているが、議会としては、十分な検討を続けていく。 ・中電は原発が止まっている状況の中でも、電力はまかなわれている。1mで1億円の防潮堤は作ったが、それで大丈夫か、核燃料棒の処理の問題もある。 ・松井市長は、万全な安全対策とそれに対する市民の理解がなければ再稼働は認められないと言明。

議会報告会報告書

開催日時	平成２７年　１１月　５日（木） 午後　７時　分　～　午後　８時　４５分				
開催場所	大須賀支所　２F 会議室				
参加人数 (議員・事務局除く)	４７　人				
出席議員	１　班	中上禮一	鷲山喜久	榛葉正樹	松本　均
		竹嶋善彦	高木敏男	野口安男	草賀章吉
役割分担	班　長	中上　禮一		司会進行	鷲山　喜久
	報告 (人口減少)	榛葉　正樹		テーマ① (健康長寿)	松本　均
	テーマ② (若者)	野口　安男		記　録	草賀　章吉
	受　付	竹嶋　善彦		受　付	高木　敏男
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮)かけがわ健康 長寿基本条例につ いて	・ 条例は理念的であり、当り前のこ とを記しているだけではないか。 ・ この」理念を達成するために、具 体策を提案すべきではないか？ （例えば、エンディングノート等） ・ 議員任期中に条例制定出来るの か？ ・ 新聞での表現と違うのではない か？ ・ 大須賀は区長１年制のため去年の ことが分からない。			・ 条例ではあまり具体例を示すの は難しい。 ・ 具体策は研究する。	
若者に魅力ある 掛川市について	・ 高校生意識調査から あまり生活のことは考えていな いのかなと思う。 他地域へ出て行った若者の声をア ンケートすべきではないか？ U　ターン促進のためには必要では ないか。			・ 良い意見をありがとうございます。	

報告に関する質疑	(意見・提言等)	(対応)
若者に魅力ある掛川市について	・掛川市でも中心街への一極集中しているのではないかな？ ・大須賀地区は住みたくない人多い ・バス交通や買物に不満が多い ・地域性をより考慮すべきではないか。大須賀地域のあり方をよく考えて欲しい。	・現在は中心市市街地活性化に向けて開発しているが・・・ ・松井市長は南部に金を使っていないという人もいるが、そうではない。合併道路など施工されている。大須賀地区議員が２人しかいないからではない。
その他	・大須賀地区は、バス交通の問題があるのではないかなと思う。 ・議会報告会になぜ地元の議員が参加しないのか？ ・委員会は傍聴出来るのか？ ・地区集会は ・空き家バンクは中山間地域だけの取組みか？ ・空き家バンクいつからやっているのか？ 本谷には１９戸があるが、空き家バンク必要ないと思う。 登録しなければいけないのか？	・デマンドタクシーは多くの利用があると聞いている。公共交通についても考え、研究してゆきたい。 ・議員は全市から選出されている。なるべく広い地域の意見を拝聴しようという思いで班編成している。 ・希望があれば委員会傍聴出来る。事務局に申し出て欲しい。 ・大須賀地区は２会場にて実施している。 ・今後は、全地域での取組み検討必要であると思う。 ・中山間地域だけでなく、空き家は問題。より積極的展開を申し伝える。 ・調査し、希望者があれば登録しぐみである。

議会報告会報告書

開催日時	平成27年 11月 6日(金) 午後 7時 00分 ~ 午後 9時 00分				
開催場所	大東市民交流センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	69 人				
出席議員	1 班	中上禮一	鷲山喜久	榛葉正樹	松本 均
		竹嶋善彦	高木敏男	野口安男	草賀章吉
役割分担	班 長	中上 禮一		司会進行	鷲山 喜久
	報告 (人口減少)	榛葉 正樹		テーマ① (健康長寿)	松本 均
	テーマ② (若者)	野口 安男		記 録	草賀 章吉
	受 付	竹嶋 善彦		受 付	高木 敏男
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)		
(仮) かけがわ健康 長寿基本条例につい て	・条例の具体策について、向う5年 くらいの予算や財源をどう見ている か？ ・高齢者を支えるためにどのくらい 金がかかるのか。 (延命治療など) ・条例が出来た後の精査は誰がする のか？ ・2040年 120,000人目標である。 菊川市、袋井市は人口増えているが 掛川市は減少しているが、何故か？ ・介護保険料も御前崎市や菊川市より も高い。具体的に何が原因なのか 等調査は出来ているのか？ ・内陸フロンティアの話があった が、大東に来てその話はないだろ う。南部地区は不動産が全然動かない 地域となっている。		・そこまで検討していない。 今後、議員討議もする。 ・全国の一人当たり医療費ですが、 75歳以上は93万1千円かかっ ている。 ・掛川市では74万円程度です。 ・各関係機関にも求めてゆく。 ・菊川市 住みやすい満足1位 掛川市は3位 ・介護が充実している。 しっかりした分析が出来ている訳 ではないが、議会としても当局に 申してゆく。 ・大東地区にもシオーネ北側にあ る。 工場用地があるので、しっかり議 論進めてゆく。		

若者に魅力ある掛川市について	・浜松や磐田のマネをしてもダメで、掛川ならではのものをつくるべきではないか。 ・日坂の山中のレストランが人気であるとの話もある。 ・空き家バンクも南部地区へも積極的にすべきではないか？ ・若者 37 問中 10 問がお茶に関する話でした。 これには、首を傾げたくになります。 ・若者への魅力づくりというのが介護保険料も固定資産税も高いと言われる。 これでは、若者に魅力はないだろう。 ・若者の負担を軽減することに、どのような議論がされているのか？ ・保育園は待機児童が増えているが、幼稚園は空いている。	・確かにそうです。 ただ、店舗や施設を欲しいという声もある。 ・茶草場農法の場の活用もすべきだと思う。 ・空き家バンクの全域取組みを提案してゆく。 ・地場産業をしっかりと活かす。また、自然資源を活かす取組みをしてゆきたい。 ・ブランド化しようということです。 ・お茶の話だけではダメという話も委員会では出ている。 ・今後、検討してゆく。 ・幼保一元化の」検討を始めている。（南部地区の）
その他	平成 26 年決算、平成 20 年に比べると市税収入 20 億円くらい減少していると聞く。 ・法人税が減少すると市民税が増えるのではないか？ 南部地区の都市計画税はどれほど使用されているか？ ・将来負担額が 800 億円以上ある。いつまでに解消できるか？	・全体では、法人市民税は若干増えて来ている。 ・企業流出何とか止めたい。流入企業もある。 ・掴み切れていない。 ・将来負担額は減少して来ている。

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 11 月 10 日 (火) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 55 分				
開催場所	初馬会館				
参加人数 (議員・事務局を除く)	9 2 人				
出席議員	3 班	内藤澄夫 大場雄三	堀内武治 窪野愛子	鈴木久男 山本裕三	山崎恒男 渡邊久次
役割分担	班長	内藤澄夫		司会進行	山崎恒男
	報告 (人口減少)	大場雄三		テーマ① (健康長寿)	窪野愛子
	テーマ② (若者)	山本裕三		記録	渡邊久次
	受 付	鈴木久男		受 付	堀内武治
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮) かけがわ健康長寿条例について	・ 今年のお茶は掛川茶になって良かった。 ・ 「市民にお願いしたいこと」の③適正で良識ある受診方法とあるが、良識的でない受診というのはどういうものか。 ・ ④の書き記すというのは、どのようなものをいうのか。法的な効力ということも考えているのか。			・ 行きたい時にすぐ行くようなコンビニ受診とか、救急車をタクシー代わりに使うとかいうのが良識的でない受診方法と考えています。本当に必要なときに適正な医療が受けられるように、心がけましょうということです。 ・ 元気でいるときに、家族との意思疎通を図っていくことが必要で、その一つとして書き記すということもある。法的なところまでは踏み込んで考えていない。	
若者に魅力ある掛川市について	・ 若い女性の流出が多いということだが、その理由は何か。 ・ 結婚して子どもができたとき、職場の近くで保育をしてもらえる場がほしい。職場の中に保育所等を作るということはないのか。			・ 数字的にはっきりとしたものはないが、就職や結婚が理由と考えられる。高等教育を受けるときに大都市に行って、大学等に進学し、卒業しても地元働く場がなければ、都会に住む人が多くなる。 ・ 子どもを産み育てる世代が減ってくれば人口減少が進む。若い女性が働ける場をもっと増やさなければならない。 ・ 今回、初めて上土方工業団地内に定員 19 人の企業内保育所ができることになった。この流れを今後市内全域に広げていきたい。	

	(質疑)	(答弁)
若者に魅力ある掛川市について	・この問題は、1自治体では限界があるし、同じような問題を抱えている自治体はたくさんある。掛川市独自の対策や提案はあるのか ・西郷の北部の方に工業団地ができれば、若者も増えると思うが、その後の進み具合はどうか。 ・希望していた企業が、袋井の方に移ったという話も聞く。先行造成した方がいいのではないか。 ・バイパスが渋滞することが多いが、4車線化などの対策は進められないのか。 ・議会報告会に期待している。北中学区の報告会は、いつも初馬会館だが、他の地区でもやってもらえないのか。 ・東部、西部、中部、南部とふくしあができたが、北部にはない。北部地域での具体的な取り組みをどう進めるのか。 ・内陸フロンティアがなかなか進まないのはなぜか。中山間地の農地等の状況をしっかり調査して、取り組んでほしい。 ・大きなテーマでの話し合いも大事だが、もっと細かな具体的の課題で話をしてほしい。	・県内では、長泉町が働く場も多いし、保育の環境も整っていて、若い女性が増えている。掛川市でもそういう方向に向かいたい。 ・第2次総合戦略の中では、子育て支援、子どもの教育支援、住宅支援、働く場をつくることを考えている。そういう環境が整えば、山間地であろうがどこであろうが若い人は集まる。 ・今後、介護保険等について市の財政負担が多くなり、厳しい状況であるが、総合戦略に沿った方向で取り組んでいきたい。 ・経済の状況から、当初計画よりは遅れている。工業団地をつくる時、先に造成をしてここにどうぞという場合と、希望する企業が造成を行う場合とがある。 ・先行造成はタイミングが合えば良いが、そうでない場合もあって、後者の方法をとっている。 ・1市町ではできないので期成同盟会で取り組む。袋井バイパスから整備が進んでおり、引き付き整備を進めていく。 ・広くて使い勝手が良いということでやっているが、次回からは検討する。 ・今後の課題としてしっかり研究していきたい。 ・どこの地域でも農業で食べていくのは難しい。農地法が年々厳しくなって、遊んでいる農地も多い。安心・安全な農業を守っていくことも大事である。 ・時間の制約もあって、テーマを絞った話し合いとさせてもらっているが、議会としては、十分な検討を続けていく。

議会報告会報告書

開催日時	平成２７年　１１月　１０日（火） 午後　７時　分　～　午後　８時　４０分				
開催場所	市役所　４F 会議室				
参加人数 （議員・事務局除く）	５３人				
出席議員	１　班	中上禮一	鷺山喜久	榛葉正樹	松本　均
		竹嶋善彦	高木敏男	野口安男	草賀章吉
役割分担	班　長	中上　禮一		司会進行	鷺山　喜久
	報告 （人口減少）	榛葉　正樹		テーマ① （健康長寿）	松本　均
	テーマ② （若者）	野口　安男		記　録	草賀　章吉
	受　付	竹嶋　善彦		受　付	高木　敏男
報告に関する質疑	（質疑）			（答弁）	
（仮）かけがわ健康長寿基本条例について	・ 地域医療を育む会 fan の会員 ・ 医師会や医療機関との話し合いを持ち、情報共有してほしい。 健康、介護について ・ 病院での死亡７０％以上という現実の中で、在宅看取りができるのか？！実のある条例としてほしい。			・ 関係機関との連携をもちながら条例制定してゆく。 ・ 貴重な意見をありがとうございます。 ・ この議会報告会の目的は条例制定に対して市民の意見を聞きたいとの思いですので、たいへん有り難い。	
若者に魅力のある掛川市について	・ 例えば、オランダでは自転車を列車に乗せて移動が出来る等、工夫がされている。 若者のライフスタイル知る必要			・ 若者の行動を否定的に見ることが多いが、我々も前向きに捉えて行く必要がある。	

報告に関する質疑	(意見・提言等)	(対応)
		・若者の好みはいろいろあるので、掛川市としては何が良いのかも考えてゆきたい。
その他	・ 3つの日本一について これが至上命題とならないように取り組んでほしい。 ・ 防災について 「掛川市は津波で危ない所」というイメージを与えないように、情報発信のしかたを工夫してほしい。 ・ テレビで脳の情報機能を上げると健康になると言っていた。 私の母親は96才で元気である。 高齢者から私たちは何を学ぶべきか。 スマホ世代は情報を与えられるだけ、これではダメだ。」 ・ 待機児童の話に関連して 高齢者と幼児施設が隣接していることも大事。 高齢者とのコミュニケーションから学ぶことある。 ・ 掛川の夜のまちにはいい所があるという(悪い)噂が他市ではある。 ・ fanのアンケート実施 中東遠総合医療C利用、掛川市民少ない。	・ これはあくまで目標であるので、過剰にならないように当局へも伝える。 ・ 十分気を付けるように伝える。 ・ 長寿社会の形成、全国事例も多々ある。 頭を使うこと必要。 他人の役に立つ仕事を与えると元気になったなど、いろいろな事例がある。 ・ 希望ヶ丘にもあるので、機会があれば見て下さい。 ・ 夜のまち評価 勉強したい ・ 掛川市民 60% 袋井市 30% 他市民 10% の利用である

議会報告会報告書

開催日時	平成27年 11 月 11 日 (水) 午後 19 時 00 分 ~ 午後 20 時 56 分				
開催場所	桜木ホール				
参加人数 (議員・事務局除く)	58 人				
出席議員	2 班	栞原通泰	大石與志登	鈴木正治	山本行男
		雪山敏行	二村禮一	大石 勇	小沼秀明
役割分担	班 長	栞原通泰		司会進行	大石 勇
	報告 (人口減少)	雪山敏行		テーマ① (健康長寿)	二村禮一
	テーマ② (若者)	小沼秀明		記 録	山本行男
	受 付	大石與志登		受 付	鈴木正治
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮)かけがわ健康 長寿基本条例につ いて	・この条例の基本的な流れや背景が 分かりづらいと思う。 例えば前文があり目的・理念とかに なると思うが如何か ・いまの説明を聞いていると高齢者 対策が主な内容に聞こえるが揺り 籠から墓場までの内容で理念的な 内容になると考えているか ・地域戦略事業として県に約6億円 近い交付金があると新聞報道され ていた 福祉的なことなど含むと思うが情 報をしっかりとっていただき交付 金を沢山取って欲しい ・介護や子育てなど現在は全て女性 がやっている、男性は自分の仕事だ とは考えていないが			・本日のように皆さまからのご意 見をいただきながら中身を作って いきたい ・先程の説明とおりですがこれか ら前文や1章2章と各章ごとに作 られていきます。議会発議で2月 議会に上程したいと考えている ・条例そのものはお子様から高齢 者まで含んだ内容と考えておりま す。 高齢者の説明が多くなりそのよう に思われたかと思いますが、偏り のない内容にしたい ・市では2つの事業が採択となり 約3千百万円の交付金がいただけ ることになった 健康に関する事業は先進事例でな いので不採択となった ・子育てなど昨年の提言では女性だ けでなく男性もするものとしている	
若者に魅力ある掛 川市について					

報告に関する質疑	(質疑)	(答弁)
若者に魅力ある掛川市について	①1 番の問題は出生率、お母さんたちがお産しやすい環境やお産後に働ける環境を作ることが大事、それと晩婚化が問題、30 歳前ぐらいまでに結婚すれば奨励金を出すとか思い切ったことが大事だと思う。地道な政策とインパクトのある政策を並行してやることが大事だと思う ②説明を聞いていて非常に良いことをしていると思う。だけど市民の皆様には伝わっていないように思うので議会活動をもっと知ってもらい評価してもらうために検討して欲しい ・市外の住民でアパートに住んでいるがこの地域にマイホームを建てたいと言っているが農地法の関係で建てられない現状がある、議会でも土地利用についてもっと言って欲しい ①本日のテーマなど大変良い内容だと思うので資料を事前に配布できる工夫を考えて欲しい ②健康長寿や若者のテーマについては現状はこうですが例えば条例が出来ればこうなります、若者対策も議会としてこのようにしていきたいとの話が欲しい ③労働法(派遣)の問題ですが多様な働き方があっても良いと思うが労働法を(ブラック企業問題等)守って欲しいと思うが	①結婚奨励金など大変に良いご意見だと思いますので議会で検討したい ②若者が対象の内容ですので、若者が参加できるよう議会報告会の時間帯や会場などを工夫したい ①インパクトある政策などその通りだと思いますので議会で検討したい ②議会だよりなど使いもっと議会活動報告をしていきたい。 どのようにしたらより周知できるか検討したい ・現状的にはその通りだと思います。若者が定住したいと思っても農地法の関係などがあり難しくなっているので検討課題としたい ①ホームページなどで掲載し事前に周知できるか検討したい ③働き方などは社会的な問題ですが検討して行きたい 市長が市内の企業を周る時に労働の在り方(正社員)などお願いするよう議会でも働きかけたい
その他	①磐田・袋井・森町などではゴミ袋代が約 190 円くらいだが、なぜ市では 216 円なのか ②昨年度の税金滞納が約 18 億円だが議会としてチェックしているのか 強行執行などしているのか	①菊川市では以前より 216 円としている関係もあり掛川市でもご負担は増えるがご理解して欲しい ②各委員会などでチェックしている高額滞納などは県の機構に依頼しているし、納税課を始め全庁体制で納税回収に願っている 差し押さえなどもして税の公平性を保つ努力はしている

議会報告会報告書

開催日時	平成 27 年 11 月 1 2 日(木) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 45 分				
開催場所	南郷地域生涯学習センター				
参加人数 (議員・事務局を除く)	9 5 人				
出席議員	3 班	内藤澄夫 大場雄三	堀内武治 窪野愛子	鈴木久男 山本裕三	山崎恒男 渡邊久次
役割分担	班長	内藤澄夫		司会進行	鈴木久男
	報告 (人口減少)	大場雄三		テーマ① (健康長寿)	窪野愛子
	テーマ② (若者)	山本裕三		記録	渡邊久次
	受 付	堀内武治		受 付	山崎恒男
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮) かけがわ健康長寿基本条例について	・ 掛川市が取り組むべきこととして 3 点があげられているが、何か具体策があったら。 ・ 理念はわかるが、健康医療的な面でどんな問題があるのか、介護を受けている人数、施設の数、介護保険料などの具体的数字の提案がないと質問も難しい。そうした点もを踏まえた検討がないと条例制定も進まないのではないかと落合（南郷） ・ 最近、国の医療費が上がってくるのに関連して、掛川市国保料の今の状況は、他市と比べてどのようになっているのか、お聞きしたい。			①一人ひとりが、自分の健康管理をしっかりとすることが一番。バランスのとれた食事や適度の運動など不摂生をしないことが、健康で長生きのために大事なことだ。 ②在宅医療、在宅介護の充実のためには、ふくしあ、包括支援センターと、訪問診療をしてくれる医師の 3 者がしっかりと連携するシステムを、行政が作っていくことだと思う。③地域の医療機関との連携では、あまり口を出せないが、どういうことが連携できるのかということを考え、今後進めていきたい。 ・ 具体的な数字がわかる範囲で。医療費の高騰は、掛川市でも 7 5 歳以上になると、約 23 万円だったのが 74 万円にぼんと跳ね上がる。 ・ 介護保険料は近隣市と比べると、掛川市が少し高いというデータも出ている。平成 26 年度の介護認定は 4,639 人で、その中で要介護 3 以上の重度の受給者の割合が多い。認定者の高齢化が特に進んでいるということでもない。 ・ 介護費用の適正化のために、トリトンモニター新しいシステムも取り入れている。	

	(質疑)	(答弁)
若者に魅力ある掛川市について	・地域の活性化に求められるものは、よそ者、若者、馬鹿者のアイデアを聞けということを耳にした。アンケートもあるが、若者自身の生の声を直接聞く機会を持つことも、若者対策として必要ではないか。 ・農業は大変状況になっていて、今後はさらに悪くなるのが予想される。農業も企業ですから、行政と農協との連携を強めながら、農業の振興や若者の担い手作りなどにどのように取り組むのか。 ・待機児童が５６人と一番多かったということで、待機児童の解消は大事な課題となっている。小学校は少子化で教室が空いているので、空き教室を使って、待機児童の解消はできないのか。	・若い議員も増えていて、若者の声が議会に反映させ易くはなっている。 ・直接声を聞くための、子ども議会の開催や若者との市政懇談会なども、今検討してるところです。 ・第２次総合計画の中でも、若者に魅力があり、定住してもらうためには、子育て、教育、医療、住宅などの環境整備を重点にしている。それがクリアされれば、どこにでも若者が住むようになる。そのための財源確保が大事である。 ・儲かる農業になれば若い担い手も増える。新しい農産物の研究などの農業振興策を、農業者、農協と行政が取り組んでいく必要がある。 ・５６人以外にも、希望した保育施設に入れなかった子どもが１８０人もいる。そこを何とかしようと言うことで、前倒しの施設整備を行った。今後は希望者がさらに増え、施設の整備が必要になる。 ・空き教室の利用も考えられるが、安全面や保育の充実を考えた保育施設の増設に向けて、２８年度も公設民営と民設民営の２園を増設し、２４０人の受け入れの予定である。同時に学童保育の充実も考えていく。
その他		

議会報告会報告書

開催日時	平成２７年 11 月 13 日（ 金 ） 午後 19 時 00 分 ～ 午後 20 時 56 分				
開催場所	栄川中学校多目的ホール				
参加人数 (議員・事務局除く)	50 人				
出席議員	2 班	衆原通泰	大石與志登	鈴木正治	山本行男
		雪山敏行	二村禮一	大石 勇	小沼秀明
役割分担	班 長	衆原通泰		司会進行	大石 勇
	報告 (人口減少)	雪山敏行		テーマ① (健康長寿)	二村禮一
	テーマ② (若者)	小沼秀明		記 録	山本行男
	受 付	大石與志登		受 付	鈴木正治
報告に関する質疑	(質疑)			(答弁)	
(仮)かけがわ健康 長寿基本条例につ いて	①高齢者の生きがいについて地域 の中での支援とあるが公民館の活 用がまだまだされていない ②高齢者のイベントがなされるが 参加者が減ってきている、車で巡回 などして増やしていきたいが公的 支援などお願いしたい ③健康診断など会社員の時は補助 金などが多く有ったが今は自己負 担が大きいので検討して欲しい			①②来年度からまちづくり協議 会が始まる、議会としてもお話が ありましたように地域での公民 館の利用やイベント費用の公的 支援など検討して行く ③健康診断の負担についても検 討して行きたい	
	在宅医療や在宅介護などの説明が 有ったが私も今その最中にある。 現在、具体的な内容があれば教えて 欲しい			具体的な内容はとのことですが 現在、市では在宅体制はまだ不備 が有ります。このような条例を制 定することにより関係機関と連 携し整備していきたい	

	この地域では高齢者の足として自主運行バス事業を会員負担でやっているが、個人が負担するよりも公的補助金を貰い誰もが自由に乗れるようにしたい	各地域での文化の違いなどが有るが検討して行きたい
	医薬分業について昔のように一緒にして欲しい。患者側になっていないと思う	関係機関とこの問題など検討したい
	「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」の説明があったがこの地域にはそのような物は無い。 スーパーサンゼンが買い物難民のために軽トラで回っている。 皆さん楽しみにしている 巡回図書もそうだが、医療関係もこのシステムを参考にしてはどうか	是非とも参考にしたい
若者に魅力ある掛川市について その他	若者に対する調査データがあったが農家に嫁に来ない 議会としてこのようなことなど調査しているか 保育所、待機児童に関しては保育士さんの給料が安いと先日テレビで報じていた 掛川市の実態はどうか	今回の調査ではそこまではされていない 昨年度の提言内容には結婚への環境づくりや子育てなどを市が積極的に政策実現するように盛り込んでいます 今の質問内容なども検討して行きたい 民間保育所ではそのような傾向が見られるので議会としても検討していく

